

# 桜宮中だより

平成31年4月26日  
大阪市立桜宮中学校  
4月増刊号2 No.3

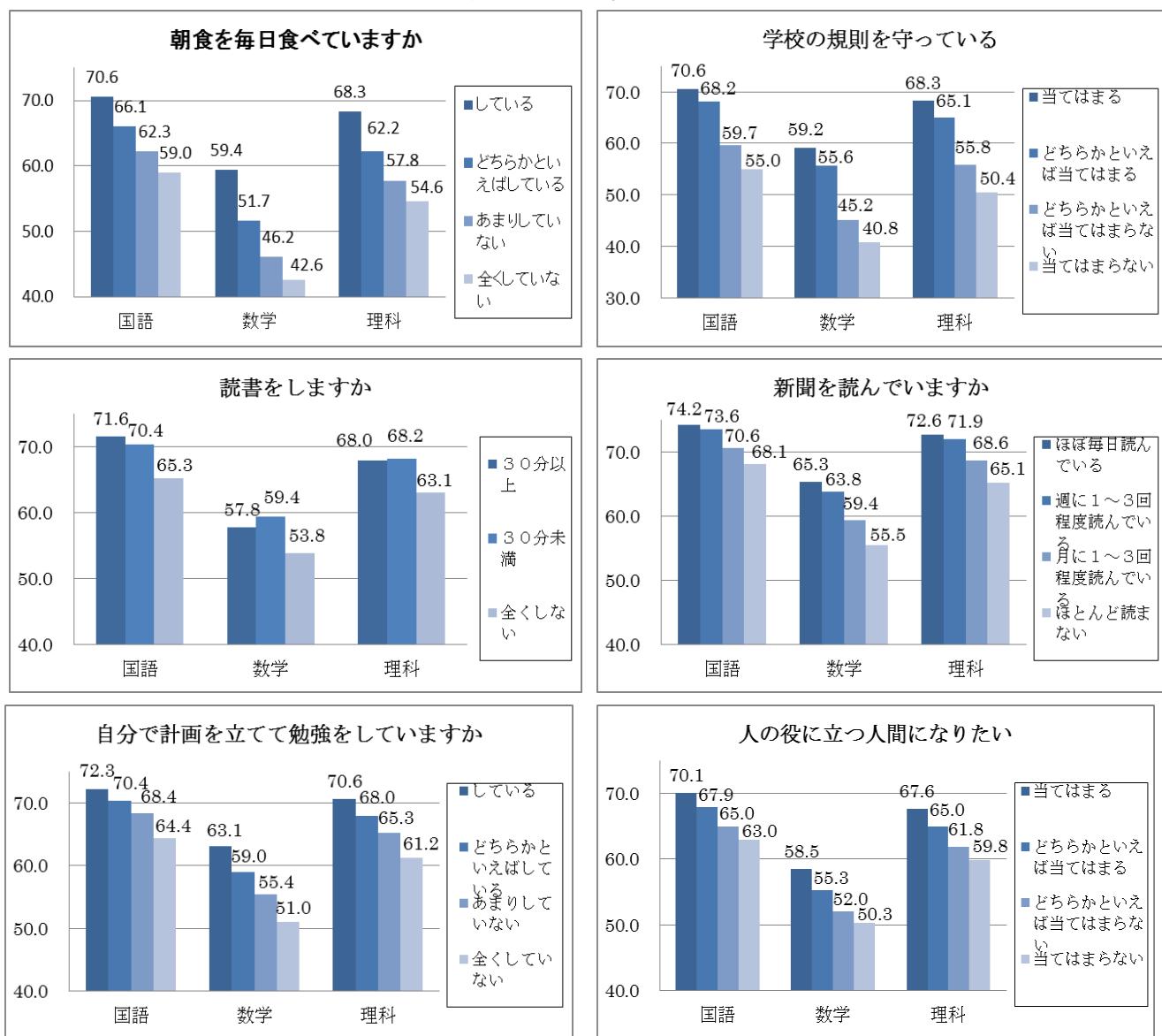
## 明日からゴールデンウィーク 有意義な時間の使い方を！！

始業式から3週間が経過し、明日からいよいよゴールデンウィークが始まります。学校生活にも慣れてきたと思いますが、始めの緊張感は大切にしてください。

さて、今年のゴールデンウィークは、天皇陛下が御退位されるとともに、皇太子殿下が御即位され、元号も令和元年と改元されます。5月1日（水）が「天皇の即位の日」として今年限りの国民の祝日となり、その前後の日も休日となるため、今年のゴールデンウィークは10連休となりました。部活動や学習塾、地域のスポーツ活動や文化活動などいろいろな予定はあると思いますが、日常の学校生活と比べると自由に使える時間が増えると思います。その時間をどのように使うか、皆さんの自覚次第です。ぜひ、この機会に、中学生としてどのように時間を使うか、考えてみてください。

そこで、平成30年度全国学力・学習状況調査の学力調査と質問紙調査の相関関係について紹介します。

昨年度の質問紙調査では、生活習慣や学習習慣、自尊感情、規範意識、地域・社会とのつながり、授業へ取組意識など、59の質問項目がありました。その中でも学力調査との関連が高いものについてグラフで紹介します。



※ 各教科・項目の平均点は、全国平均の値です。

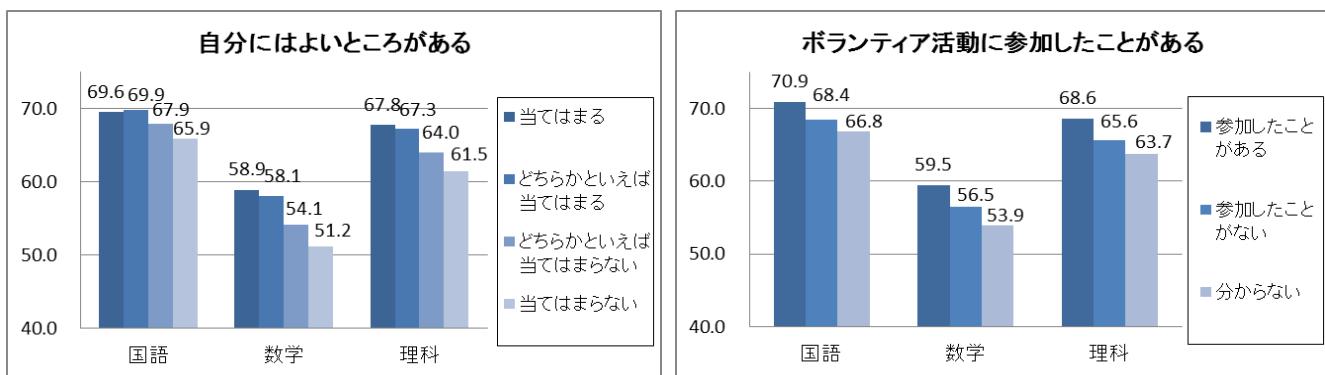
朝食を毎日食べている生徒と食べていない生徒では、国語で11.6点、数学で16.8点、理科で13.7点もの差があります。学校の規則を守っている生徒と守らない生徒ではさらに差が広がり、国語で15.6点、数学で18.4点、理科で17.9点もの差がつきます。



規則正しい生活、学校の決まりを守り授業を大切にすることが、学力に直接つながっているということを再認識してほしいと思います。

また、本や新聞を読む習慣を持つこと、テレビやネットでニュースに触れる事により、今、身近な社会で何が起きているのか、世界でどのようなことが起きているのかを知ること、自分で計画を立てて自主的に学習に取り組んでいくことも学力との相関関係がみられることがわかります。

ゴールデンウィークを計画的に過ごし、本や新聞を読む機会をつくり、習慣化していくください。



自分に自信を持つこと、人の役に立つ人間になりたいと思うことも学力に好影響を与えます。また、ボランティア活動に参加している人たちの学力が、参加していない人たちに比べ、各教科3点前後の差があります。

入学式では、「皆さんは、世界中でたった一人の大切な存在ですが、それだけでは本当の価値は發揮できません。世の中の人の役に立たなければ、せっかくの価値も台無しになってしまいます。皆さんには、様々な可能性が秘められています。その可能性を引き出すためにも、何事にも積極的にチャレンジし、真剣に取り組み、仲間や家族に貢献できる、そして社会や世界で貢献できる、自分にしかできない役割を探し出してください。」と伝えました。学力を高めること、人間力を高めることは、未来の自分の選択肢を広げることになります。

**心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる**

**習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる**

国民栄誉賞を受賞し、ジャイアンツ、ニューヨーク・ヤンキース、甲子園でも大活躍した元プロ野球選手・松井秀樹さんが、星稜高校時代に野球部の山下監督から送られた言葉です。横浜マリノスからジュビロ磐田に移籍し、今でも現役選手で活躍している元サッカー日本代表の中村俊輔さんもこの言葉を座右の銘にしています。

しつこいこと、なかなかうまくいかないことでも、繰り返しやっていくことで、当たり前にできるように変わってきます。まず、目標を決め、チャレンジしてください。根気強くやり続けることで、いつの間にか、変わっている自分に気が付くはずです。自分の未来のために、努力すること、努力を続けることを惜しまないでください。

本を読むことで自分を成長させなさい。本は著者がとても苦労して身に着けたことを、たやすく手に入れさせてくれるのだ。（ソクラテス 古代ギリシャの哲学者）